

Seminar

# アメリカにおける大学史研究の動向と課題

## "Writing the History of American Higher Education"

**DATE** 2013年2月12日(火) 15:00-17:00 February 12, 2013, Tuesday 15:00-17:00**VENUE** 東北大学東京分室 (東京都千代田区丸の内1丁目7-12 サピアタワー 10F)  
Tohoku University Tokyo branch office (Address : Sapia Tower 10F, Marunouchi 1-7-12, Chiyoda-ku, Tokyo)**SPEAKER** **Roger Geiger** ロジャー・ガイガー  
ペンシルバニア州立大学教育政策学科高等教育プログラム名誉教授

共催：東北大学高等教育開発推進センター / 大学史研究会 後援：教育史学会

90年代の高等教育の変動は、大学教員の役割変化と地位の低下、コアとなる大学自治の後退、学生の多様化、職業教育の重視、象牙の塔としての大学から、社会と連携した大学への変化は、科学者の自律性による研究倫理の維持から、政府・社会が関与する仕組みへの変化など近代の大学像の転換と言えるほど大きなものがあります。

Learn the past, watch the present and create the future という言葉がありますが、大学史研究は、この大きな変動を、どのように捉えるのかが問われています。

一方、アメリカにおける大学の変化は、白人男性中心の進学者から、女性・有色人種の進学者の拡大、公民権運動への参加、大学運営への教員・学生の参加と衰退、産学連携との結びつきと特許政策の展開など多面的であり、大学史研究は、20世紀後半までを対象として活発に行われています。日本では、1968年に大学史研究会が創設され、個別大学史編纂も進んでいますが、20世紀後半の大学をどのように捉えるか、日本の一国的な視点だけでなく、比較大学史の視点も求められています。

このたび、東北大学高等教育開発推進センターでは、ペンシルベニア大学教授で、長く Perspectives on the History of Higher Education の編集者を務め、Knowledge & Money(2004) など高等教育政策にも造詣の深いロジャー・L・ガイガー氏を招き、セミナーを開催することに致しました。ぜひ多くのご参加をお待ちしております。

**Everyone is welcome!**

Seminar

# アメリカにおける産学連携—現状と課題

## "University-Industry Cooperation and the Innovative University in the U.S."

**DATE** 2013年2月13日(水) 15:00-17:00 February 13, 2013, Wednesday 15:00-17:00**VENUE** 東北大学川内北キャンパスマルチメディア教育研究棟 M401 (仙台市青葉区川内41)  
Tohoku University Kawauchi-kita campus Multimedia Education and Research Complex M401  
(Address : Kawauchi 41, Aobaku, Sendai)**SPEAKER** **Roger Geiger** ロジャー・ガイガー  
ペンシルバニア州立大学教育政策学科高等教育プログラム名誉教授

主催：東北大学高等教育開発推進センター

**参加申込み方法** Webから申込みいただけます。 ※行事カレンダーからお進み下さい。<http://www.he.tohoku.ac.jp/>

東北大学高等教育開発推進センター 検索

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、pffp\_office@he.tohoku.ac.jpまでお申込みください。

お問い合わせ

東北大学高等教育開発推進センター  
大学教育支援センター  
TEL.022-795-4471 Email.pffp\_office@he.tohoku.ac.jpCenter for the Advancement of Higher Education  
TOHOKU UNIVERSITY